

久留米市景観計画

Kurume City Landscape Planning

京町周辺景観重点地区

景観形成ガイドライン



久留米市

平成27年10月1日 施行

1. はじめに

本市では、久留米市景観計画において、景観形成上特に重要な地区を「景観重点地区」に定め、地区に合った目標や基準を設けることで、良好な景観形成を重点的、先導的に推進していくこととしています。

このガイドラインは、京町周辺景観重点地区の景観形成にあたって、地区関係者のご理解とご協力を頂くために、目指すべき目標や、景観まちづくりのための規範（ルールやマナー）などを明文化したものです。

2. 地区指定の趣旨

京町周辺は、本市の玄関口であるJR久留米駅の西側に位置し、九州一の大河、筑後川の雄大な自然に抱かれた地区です。本地区には藩政時代の町割が現在も残り、全国にある水天宮の総本宮をはじめ、久留米藩主有馬氏の菩提寺である梅林寺や、筑後川を隔てた西の防衛的役割を担うものとして配置された寺社仏閣、日本を代表する郷里の近代洋画家、坂本繁二郎の生家等がある、歴史と文化が薫る地区です。



<天保年間久留米城下絵図>



<水天宮>



<坂本繁二郎生家>

また、本地区では九州新幹線全線開業に伴うJR久留米駅西口の開設を契機に、住民と行政が一体となって、JR久留米駅西口周辺まちづくり構想を策定してきました。それをもとに、『歴史・文化の薫る、住みたいまち、訪れたいまち、出会うまち』を目標に、地域の魅力的な景観資源を巡るまち歩きイベントを開催するなど、歴史と文化を活かしたまちづくりが活発に行われています。



<JR久留米駅西口の開設>



<きょうぐま 京隈かいわいめぐり>



<きょうのくまこうじ 京隈小路の名残があるまちなみ>

よって本市では、本地区の快適な住環境を守り引き継ぎながら、歴史と文化を活かした良好な景観形成への取組みを通して地域の活性化を促進していくことを目的に、京町周辺を景観重点地区に指定するものです。

3. 景観形成に関する目標と方針



【目標】

「JR久留米駅西口周辺まちづくり構想」を踏まえた景観形成の目標

閑静な住環境を守り、京町の歴史と文化に調和したまちなみづくり



【方針】

① 緑と歴史と文化に調和した景観の形成

本地区には、水天宮や梅林寺など、本市を代表する寺社仏閣や、城下町の町割りなど歴史・文化的な景観と、筑後川などの水と緑の自然豊かな景観が併存しています。

このまちなみの雰囲気を保全するとともに、地域の歴史や文化と調和した周辺を含めた個性豊かな景観を形成します。



② おもてなしの心にあふれる景観の形成

本市の玄関口であるJR久留米駅に西口が開設され、坂本繁二郎生家や水天宮まで歴史のプロムナードが整備されたことで、来街者が増え、これから新たなまちづくりが始まる地区です。筑後川を背景とした歴史的な建造物など、豊富な景観資源を保全・活用し、歩きながら楽しめる景観を創出します。



③ 古いものと新しいものが共存する景観の形成

九州新幹線全線開業に伴い、JR久留米駅周辺では新たな開発が予想されます。本地区の魅力である歴史・文化的で落ち着いた住環境や周辺の景観に配慮した、賑わいと落ち着きが調和した景観を形成します。

